

平成23年度 主要事業説明資料

新潟県三条市



市の花
ひめさゆり



市の木
五葉松



市の鳥
芝地鶏

5つの徹底

1 地域経済の再活性化

～「産業都市三条」にこだわり抜く!～

産業基盤の強化

技術力の進化

成長産業分野進出支援事業

※1-1 ①参照

22年度
事業採択件数 3件

次世代産業創造プロジェクト事業(地場産センター)

※1-1 ②参照

22年度
風力発電装置の開発

売れるものづくり支援事業

※1-1 ③参照

22年度
事業採択件数 22件

即応性の向上

新 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト(地場産センター) ※1-2 参照

営業力の強化

新 ものづくり技術営業力強化塾の創設(地場産センター) ※1-2 参照

販路開拓

売れるしくみづくり支援事業

※1-1 ③参照

22年度
事業採択件数 11件

・新 グローバル化対策強化勉強会の開催

伝統技術の継承

新 「育成塾」の創設

※1-3 参照

・若手鍛冶職人に対する研修の実施(鍛冶製品のブランディング・品質向上)、新規人材の雇用

農業活性化プランの推進

※1-4 参照

地産地消の推進

新 地産地消フェア開催事業

新 地産地消システム構築推進事業

高付加価値化

鮮度保持研究事業

販路開拓

農産物販路拡大事業

学校給食米ブランド販路開拓事業

食育の推進 【再掲】

完全米飯給食の実施

1-1 技術力の進化

厳しい経済環境だからこそ、市内企業が意欲を持って挑戦し、需要の拡大が見込める新しい事業分野への進出を促すため財政面、金融面、人材面など多面的な支援を行うもの

【予算額】 73,663千円

①成長産業分野進出支援事業

※1-1①参照



コンソーシアムを組んだ企業が環境・エネルギー、医療・介護などの成長産業分野の幹を太く太く育てるべく挑戦！

②プロジェクト事業

※1-1②参照



プロジェクト事業として風力発電装置の開発・事業化に挑戦！

③既存事業

※1-1③参照



個別企業が自由なものづくりに挑戦！

国・県・大学・民間企業などの有識者のアドバイスを受けながら、技術、デザインを始め、製品・技術開発から販路開拓までトータルの支援体制を構築

1-1① 成長産業分野進出支援事業

環境・エネルギー、医療・介護など国としても重視している成長産業分野に対して、「産産連携」や「産学連携」などのコンソーシアムを構築して意欲的に挑戦する市内企業の戦略的な新規分野への進出に対し国と連携した支援を行うもの

財政的支援

3年間の継続支援

成長産業分野進出支援事業

【事業内容】

今後、市場規模の拡大及び高付加価値化が見込める産業で、市内企業への波及効果が期待できる成長産業分野への参入を期して行う新技術、新製品又は新商品の開発の取組で、3年度以内の完了を目指す事業に対し3年間継続して支援を行う

【補助率等】

- ・補助率：総事業費の4/5
- ・補助額：上限15,000千円

金融的支援

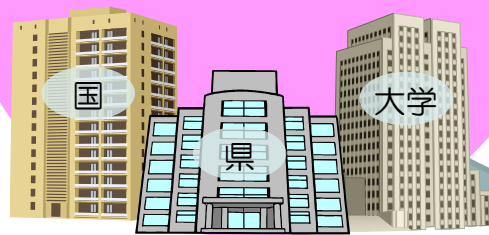
中小企業設備近代化促進資金

【事業概要】

- ・融資限度額：2,500万円以内
- ・期間：10年以内
- ・利率：年1.9%
- 【保証料補助率】0~60%
- 市が1%の利子補給

人材的支援

事業の説明や必要な情報について、国、県などの担当者、大学などの専門家集団から直接アドバイスや指導を受けられる体制の構築

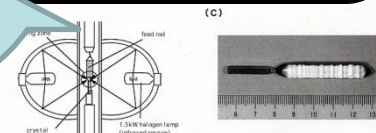


平成22年度採択事業

新機構精密ハンドツール製品と基盤技術の開発

レーザー技術を利用した高開口率微細孔加工方法の開発

6軸研削加工機を応用した金属加工技術の開発



1-1② 次世代産業創造プロジェクト事業

世界的に「クリーン発電」への期待が高まっている中で、いまだ課題が多い「風力発電」分野において新たな発想による独創的なシステムを開発し、次世代産業への進出を目指すもの

次世代産業創造プロジェクト

地場産業振興センター



企業

産学官の開発
コンソーシアム

大学



風力発電装置(ジャイロミル型小型発電装置)の開発

【特徴】

- ソーラーパネル併用
- 風速が弱い日の夜間における照明能力と高風速下における安全性機能
- 緊急時における携帯電話充電機能
- 各種の軽量高強度部材を適宜採用し、3種類の異なる装置を開発

機能分析・評価

フォローアップ

事業化支援

次世代産業への進出



1-1 ③ 売れるものづくり・ 売れるしくみづくり支援事業（既存事業）

企業の持つ優れた技術力・製品開発力を活用しながら、新たな製品・技術開発を促すとともに、販路開拓を促すための支援を行うもの

【予算額】 38,489千円

売れるものづくり支援事業

【事業概要】

製品開発等のための事業費や調査研究費の一部を補助することにより、技術開発等に対する市内中小企業の新たな取組を促進し、企業及び業界の活性化を図ることを目的とするもの

- ・補助率：総事業費の2/3
- ・補助額：上限4,000千円
- ・対象範囲は1～3次産業と広範囲

【事業分類】

- ・調査研究事業：1,000千円×5件（予定）
- ・製品開発事業：4,000千円×5件（予定）

中小企業設備 近代化促進資金

【事業概要】

- ・融資限度額：2,500万円以内
- ・期間：10年以内
- ・利率：年1.9%
- 【保証料補助率】0～60%
市が1%の利子補給

売れるしくみづくり支援事業

【事業概要】

見本市などへの出展を通して、優れた技術力・製品をアピールし、販路開拓を図る市内企業を支援するもの

- 見本市出展支援事業
- ・補助率：2/3
- ・補助額：上限1,000千円
- ・予定件数：10件

グローバル化対策勉強会

【事業概要】

グローバル化に対応するため、工学的・経営的視点から必要な対策を学ぶためのセミナーを開催する

ものづくり技術営業力強化塾

※1-2参照

新技術・新製品開発
の促進

販路開拓の推進



1-2 即応性の向上・営業力の強化

多様なニーズにすぐに応えることで産地としての信頼感を高めていくため、高い技術力が求められる試作品開発分野への進出や小さな生産単位を受注できる生産体制を確立するもの

試作・小ロット品対応力強化プロジェクト

[地場産センター事業]

【予算額】991千円

【事業内容】

試作品などの比較的数量の少ない製品への対応実績を積み上げるため、その対応もシステムとしてネットワークを構築し対応力を強化する

○周知：PRカタログの製作、各種展示会出展によるPR・受注

○販路開拓：企業訪問を介したニーズの掘り起こし

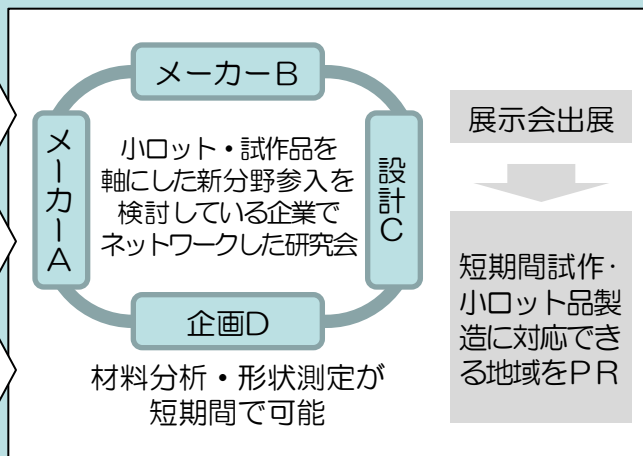
大学との連携による研究設備・治具試作などの掘り起こし

〈イメージ〉

成功事例の
分析・紹介

企業ニーズの
掘り起こし

企業・大学訪問
による受注開拓



小ロット・試作品をきっかけとした新分野への参入と継続取引の実現

ものづくり技術営業力強化塾

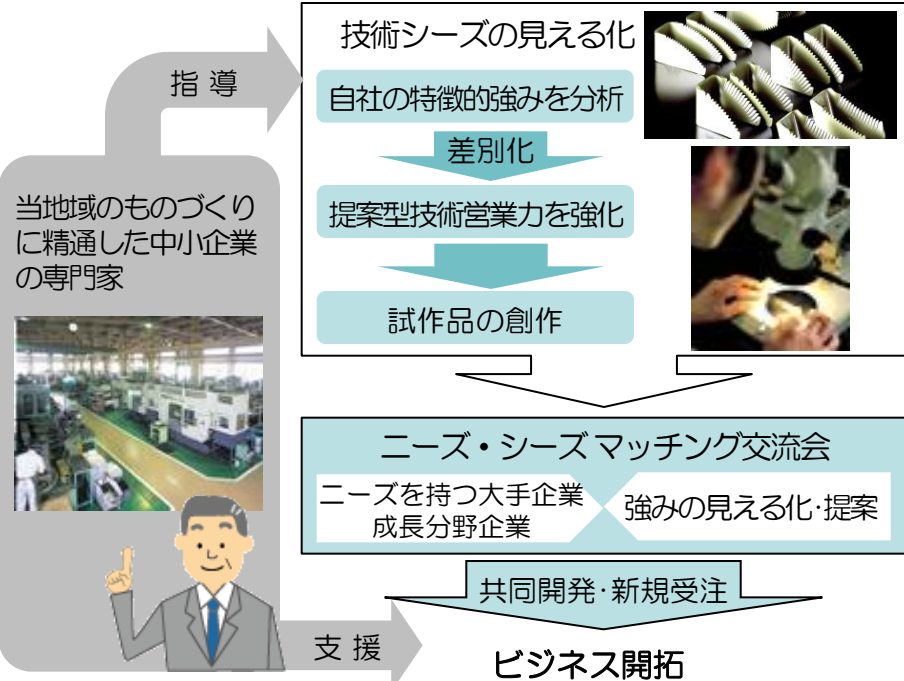
[地場産センター事業]

【予算額】1,392千円

【事業内容】

自社の特徴的強みを分析・認識して差別化し、提案型技術営業力を強化するため、セミナー、講演会、演習を通じ、強みを見える化した試作品を創作する

○対象：提案力を強化して積極的に新規取引を進めたい企業の中核技術者



1-3 伝統技術の継承

現在の金属加工技術の基礎となる鍛冶の技術をしっかりと継承していくため、後継者の確保を図るとともに、若手鍛冶職人が品質向上に資する技術や戦略的に販売する経営感覚を身に付けるための実践的な取組を行うもの

【予算額】 26,258千円

伝統的鍛冶技術振興協議会

三条商工会議所／(協)三条工業会／三条金物卸商(協)／三条鍛冶集団／三条市

「育成塾」の創設

若手鍛冶職人に対する研修の実施

新規人材雇用

県緊急雇用創出事業の活用

新規に職人を目指す者に対し、
県緊急雇用創出事業を活用して
経済的・技術的支援を行う

- 実技指導：鍛冶集団
- 基礎知識：工技総研・長岡技科大

就 職

経営研修

科学的根拠・経営の基本ノウハウの習得

売れる製品の創出・経営ノウハウ
の習得に必要な支援を行う

- 対象：若手鍛冶職人
卸商の後継者
- 講師：株式会社中川政七商店社長

鍛冶製品のブランディング

技能研修

科学的根拠に基づく製造技術の習
得・加工技術の底上げに必要な支
援を行う

- 対象：若手鍛冶職人
- 講師：工技総研・長岡技科大

鍛冶製品の品質向上

三条鍛冶の技術継承と情報発信



伝産事業



DIYショウ



鍛冶道場



後継者育成事業



鍛冶まつり



鍛冶キャラバン

アンテナショップ
の検討



1-4 農業活性化プランの推進

意欲的に取り組む農業者を対象として様々な取組を展開し、市民と行政が協働で農業の活性化を図るもの

農業活性化プラン 【予算額】 17,091千円

農産物の高付加価値化

- 鮮度保持研究事業
ナノミスト発生装置による果樹等の鮮度保持・出荷時期の延伸の研究

販路開拓

- 農産物販路拡大事業
・東京ビッグサイト等での見本市出展サポート
- 学校給食米ブランド事業
- 荒川・横浜交流事業
- 異地点間連携（箕面市農業祭などへの出展）



人材育成

- 農業担い手確保育成事業

地産地消

- 地産地消フェアの開催 ※3-4参照
- 地産地消システム構築推進事業
 - ・スーパーの「イッショップ」の拡大支援
 - ・「三条まんま塾」との連携活動
 - ・地場農産物の直売所開設
※5~11月の土日祝日・庭月庵悟空駐車場
 - ・しみん朝市等のサポート

食育の推進

- ・完全米飯給食の実施
- ・「三条まんま塾」の活動
※食育という視点での生産者と消費者との連携



環境保全

- 堆肥化施設の建設 ※Ⅱ-1参照
- やさしい農業推進事業
 - ・バイオマス資源の利活用
 - ・環境教育・保全活動のサポート

三条市食育の推進と農業の振興に関する条例

食育推進計画

【予算額】 5,942千円

学校における食育

学校給食を中心に、生涯を健康に生きるための「食べる力」を育てる

完全米飯給食

地産地消

食教育



保育所における食育

農産物の栽培、親子調理体験及び保護者食育講話の実施

地域における食育

妊産婦から高齢者まで一貫した食指導による健康づくり

家庭における食育

食への感謝や家庭内のコミュニケーションなどを図るため、「子どもがつくる弁当の日」を実施

小学校

中学校に拡大

5つの徹底

2 子育て環境の充実

～次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く!～

小中一貫教育の推進

小中一貫教育推進事業

※2-1 参照

・小・中学校交流活動、小・中学校教員による相互乗り入れ授業、小中一貫教育検討委員会等での検討、研究発表会の開催、カリキュラムの作成・検証、嘱託指導主事の配置、小中学校講師の配置(21人←18人)

22年度
・市内すべての小中学校での小中一貫教育導入
・小中連携のためのバス購入

小中一体校の整備

※2-1 参照

・第二中学校区小中一体校: 建築工事

22年度
実施設計、用地取得等

子育て支援の充実

子育て応援宣言市民運動!

総合サポートシステム事業

特別支援教育事業

いじめ・不登校対策事業

・不登校児童生徒支援員の配置、カウンセラーによる不登校児童等の相談、サポートネットワーク指導員の指導回数拡充

22年度
月ヶ岡養護学校での開設

放課後子ども教室の運営

公立保育所の民営化の推進

・飯田保育所(中浦保育所を統合)、川通保育所移転民営化(用地取得)

22年度
西四日町保育所、あいあい保育所民営化

教育環境の充実

教育施設等の整備

裏館小学校改築事業

※2-2 参照

・仮グラウンド造成、校舎棟建築工事

通学路の整備

・第一中学校区通学路(市道南四日町西本成寺線)及び第二中学校区通学路(市道興野新光線)整備など

(新) 小・中学校普通教室等扇風機設置事業

※2-2 参照

22年度
・校舎補強工事(第二中、本成寺中)
・体育館補強工事(西鱈田小、月岡小、大崎小、南小、第一中)
・スクールバス運行本数の増便及び運行エリアの拡充
・グラウンドの芝生化(大崎小、大島小、第三中)
・ペレットストーブの導入

ソフト事業の充実

(新) 下田地域複式学級懇話会の設置

※2-3 参照

幼児教育推進事業

※2-3 参照

・(新)「接続期のモデルプログラム」の策定、幼稚園・保育所(園)の小学校との交流活動

学力向上推進事業

※2-3 参照

・(新) 教科書改訂に伴う指導書及びデジタル教科書の購入

22年度
幼児教育推進プランの策定

2-1 小中一貫教育の推進

三条市の将来を担う大切な宝である子どもたちを心身ともに健やかに成長させるため、全小中学校で義務教育9年間で連続した期間としてとらえた小中一貫教育の推進を図るもの

小中一貫教育推進事業 【予算額】 75,807千円

主な取組内容

小・中学校の
交流活動

小・中学校の
部活動交流

モデルカリキュ
ラムの作成

モデル校中間
発表会

小・中学校教員
の相互乗り
入れ授業

小学校高学年
の一部教科の
担任制



小6と中1で膝を交えて意見交換



中学校の先生による英語活動



小・中学校の交流活動

サポート体制

- 小中学校講師の配置
- 嘱託指導主事の配置
- 小中一貫教育推進室

スクールバスを活用した
小・中学校交流活動



モデルカリキュラムづくり

モデル校区における交流活動の成果

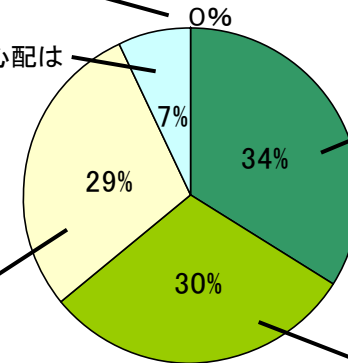
“第一中学校区 一日体験入学でのアンケート結果、”

◇第一中学校の先生の授業を経験し、中学校の勉強に対する不安は解消しましたか。

心配は解消していない

どちらかと言えば心配は
解消していない

最初から不安は
なかった



心配は解消した

どちらかと言えば
心配は解消した

小中一体校の整備

【予算額】 402,073千円 (H22補正含み 1,059,600千円)

第二中学校区小中一体校 ➡ 校舎建築工事

第一中学校区小中一体校 ➡ 施設整備に向け取組を進める

2-2 教育施設等の整備

子どもたちの心身の健やかな成長を支えるため、教育環境の整備・充実を図るもの

校舎改築事業

裏館小学校改築事業



平成24年9月開校予定

【予算額】177,923千円
(ただし、H22補正含み625,380千円)
※継続費(H22~24) 1,557,200円

○主な施設内容

普通教室、特別教室、体育館、
地域交流室、クラブハウス、
屋上プール、給食調理場 など
(体育館、給食調理場は、平成25
年度中の供用開始を予定)

第二中学校区小中一体校建設事業(一ノ木戸小学校移転改築)



平成24年9月開校予定

【予算額】402,073千円
(ただし、H22補正含み1,059,600千円)
※継続費(H22~24) 2,649,000千円

○主な施設内容

普通教室、特別教室、体育館、小中連
携教室兼小中教職員連携スペース、地
域開放施設、屋上プール、給食調理室
など

第一中学校区小中一体校

小学生と中学生が日常的に交流できることに配慮しながら、小学校棟と中学校棟
を緩やかに区分する形態での一体型校舎の施設整備に向け、取組を進める

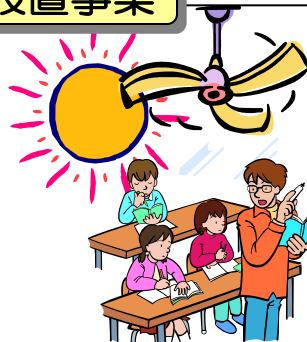


小・中学校普通教室等扇風機設置事業

【予算額】70,200千円 (H22補正)

夏季の教育環境の改善を図るため、全ての
小・中学校の普通教室及び特別支援教室に扇風機を設置

○小学校 263教室、708台
○中学校 99教室、280台

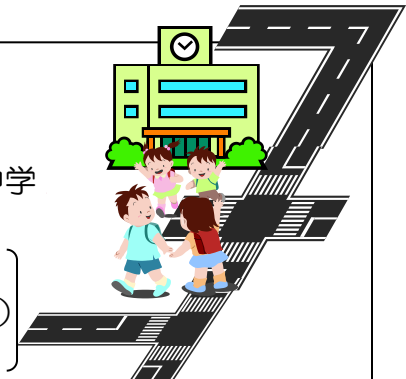


通学路整備事業

【予算額】147,000千円
(ただし、H22補正含み172,000千円)

児童・生徒が安全・安心して、小・中学校
に通学ができるよう通学路を整備

〔興野新光線(第二中学校区)
南四日町西本成寺線(第一中学校区)
岡野新田1号線(栄中学校区)〕



2-3 ソフト事業の充実

三条市の次代を担う子どもたちを育て抜くため、教育施設等の整備・充実を図ることと併せ、デジタル教科書を活用した授業を取り入れるなど、ソフト事業の充実を図るもの

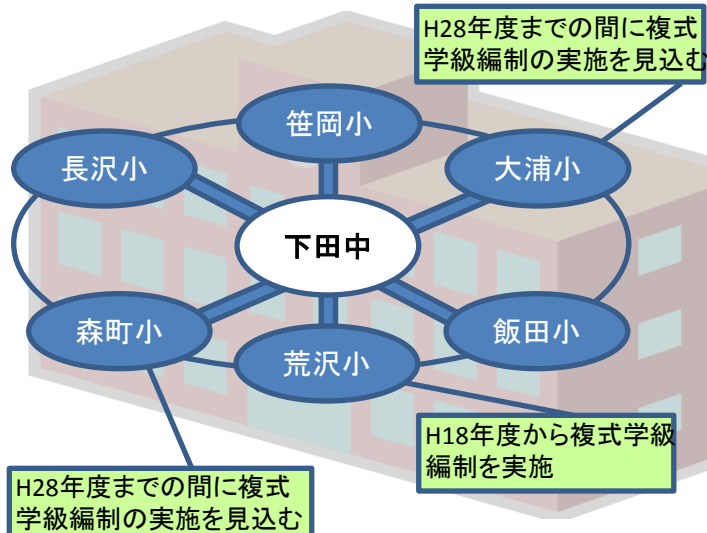
下田地域複式学級懇話会の設置

◇設置趣旨

児童・生徒の減少傾向が著しい下田地域を対象に、今後の複式学級の在り方について、地域の率直な意見を聴くため。

◇構成メンバー

学識経験者、学校長、PTA会長、自治会長、地域審議会委員などから選出



学力向上推進事業

【予算額】49,311千円

学習意欲の向上などに効果があるデジタル教科書を活用した小学校での授業の実践

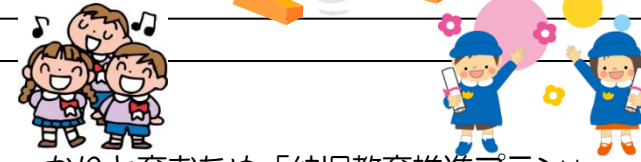
- 国語 1学年～6学年
- 算数 1学年～6学年
- 理科 3学年～6学年



幼児教育推進事業

【予算額】2,604千円

幼児期に子どもの生きる力の基礎をしっかりと育むため「幼児教育推進プラン」に基づき、公私立幼稚園、保育所（園）、学校、行政が幼児教育の推進を図る



目 標
生きる力の基礎を育てる

〈重点項目〉

- 1 幼児教育内容の一層の充実
- 2 幼稚園・保育所（園）と小学校の連携の推進
- 3 家庭への支援の充実

平成23年度の実施

◇「交流活動」の実施

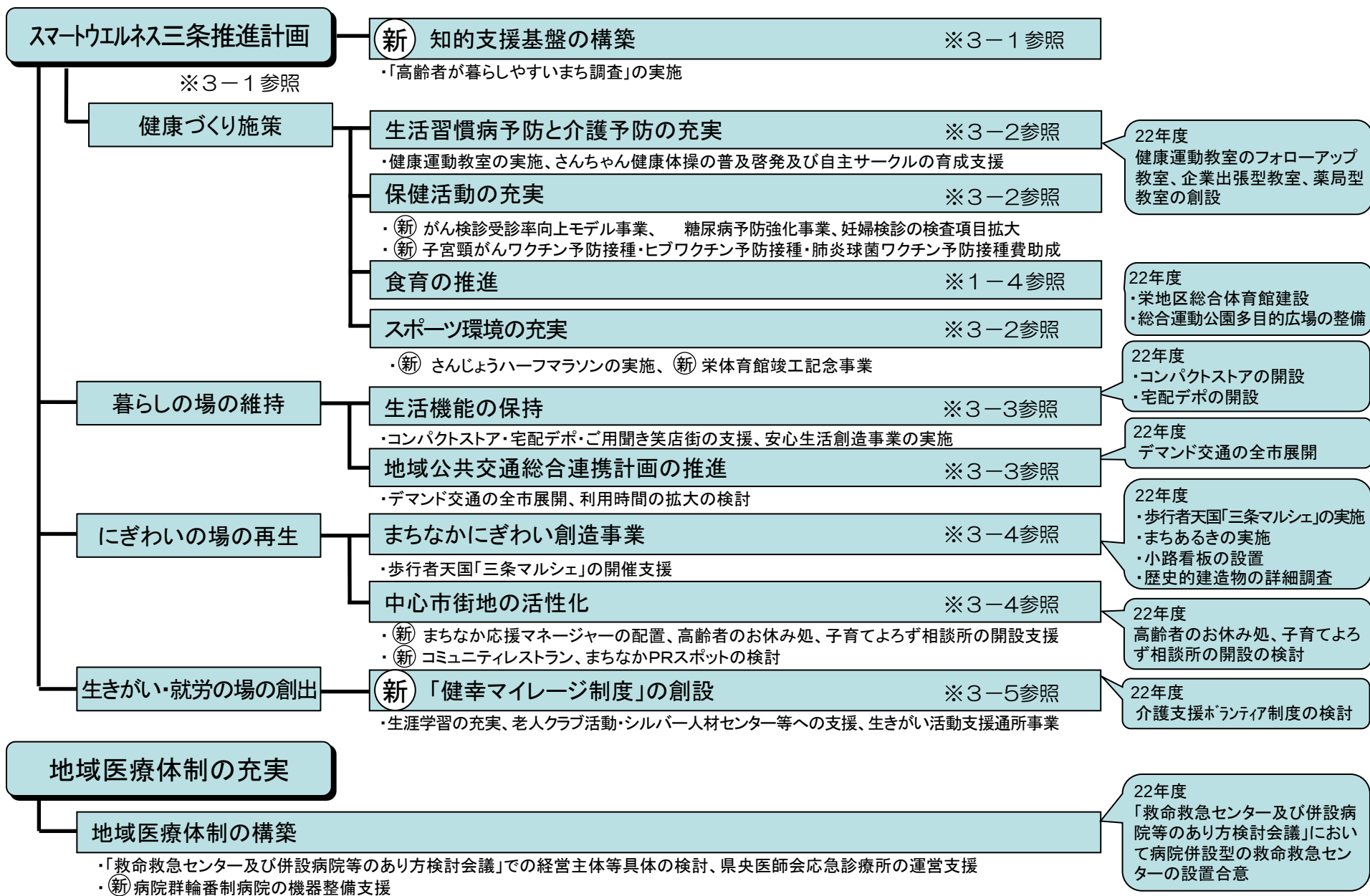
幼稚園、保育所（園）と小学校の子ども同士、教職員間で継続的な交流活動を実施

◇「接続期のモデルプログラム」の策定

子どもの育ちや学びをより滑らかにつなげていくため、「めあて」「遊びや学習活動例」などを掲載した、小学校との接続期のモデルプログラムを作成

5つの徹底

3 スマートウェルネス三条の推進～赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く!～



3-1 スマートウエルネス三条推進計画

市民の誰もが生涯にわたり「明るく、楽しく、元気よく」健康で幸せに暮らし続けるための基盤として、健康を軸としたまちづくりを進めるもの

スマートウエルネス三条推進計画の目標

健康寿命を延ばす

医療費負担の軽減

健康づくり施策 ※3-2 参照

生活習慣病予防と
介護予防の充実

保健活動の充実

食育の推進
※1-4 参照

スポーツ環境の充実

暮らしの場 ※3-3 参照

生活機能の保持

不安の解消

地域公共交通

にぎわいの場 ※3-4 参照

中心市街地の活性化

空き店舗活用

コミュニティ

生きがい・就労の場 ※3-5 参照

市民活動

ボランティア

生涯学習

「高齢者が暮らしやすいまち調査」

【予算額】3,600千円

高齢化率の特に高い三条小学校区をモデルに、暮らしやすいまちの要件や外出の目的、日常生活における問題点等を把握しながら長寿社会に必要な施策を検討する

知的支援基盤

科学的根拠に基づく取組の効果分析・検証を行い、効果的に取組を進めるためのアドバイスを行う

- 「高齢者が暮らしやすいまち調査」手法のアドバイス・調査結果の分析
- 現在実施している取組による効果の検証・アドバイス



3-2 健康づくり施策の充実

生涯にわたり健康で介護を必要とすることなく暮らせるよう、スポーツによる体力づくりや生活習慣病予防・介護予防などの施策の展開を図るもの

生活習慣病予防と介護予防の充実

健康運動教室事業

【予算額】63,060千円

【事業内容】

40歳以上の医師から運動を禁止されていない方を対象に、科学的根拠を基に開発した「e-wellnessシステム」を使用し、参加者一人一人にあわせた個別運動プログラムによる運動教室を実施する



体操事業

【予算額】419千円

【事業内容】

高齢者の心身機能の改善・向上を目的に、だれもが無理なくできる「さんちゃん健康体操」を普及する



保健活動の充実

ヘルスリテラシーの低い人へのアプローチ



がん検診受診率向上モデル事業

【予算額】653千円

【事業内容】

- 半日ミニドックの実施
- 初心者胃がん検診の実施
- イベントでの乳がん検診の実施

糖尿病予防強化事業

【予算額】690千円

【事業内容】

- 健診結果が要医療で未受診の方などの個別指導の実施
- イベントでの血糖値測定の実施

妊婦検診の検査項目の拡大

【予算額】79,164千円

【事業内容】

より安全な妊娠の継続と出産のため、HTLV-1抗体検査とクラミジア検査の追加する

予防接種の助成

【予算額】318,760千円

【事業内容】

- 子宮頸がん予防と子どもの感染症予防に効果的なワクチン接種の無料化
- 子宮頸がんワクチン予防接種
- ヒブワクチン予防接種
- 肺炎球菌ワクチン予防接種



スポーツ環境の充実

さんじょうハーフマラソンの開催

【予算額】4,348千円

【事業概要】

- ・開催時期 10月
- ・会場 下田地域（いい湯らてい発着）
- ・種目区分 ハーフ、10km、5km、3km



栄体育館竣工記念事業

市内剣道大会

【予算額】540千円

【事業概要】

- ・開催時期 4月3日



3-3 暮らしの場の維持

歩いて行動できる範囲に支障なく日常生活を送るための生活基盤を整備するもの

生活機能の保持

コンパクトストア まごころ



宅配デポ

さんじょうご用聞き笑店街

【予算額】 2,500千円

【事業内容】

地域住民の買い物利便性向上や商店街、中心市街地等の活性化を図る

さんじょうご用聞き笑店街



～自宅にしながら馴染みのお店で買い物を～

安心生活創造事業 ～地域見守りサービス～

【予算額】 7,148千円

【事業内容】

地域見守り訪問員による
高齢者世帯への訪問を通じ、
地域住民が相互に助け合う
仕組みを構築する

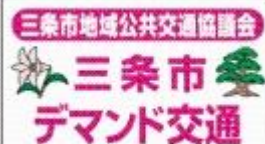


配達による
見守り協力

地域公共交通総合連携計画の推進

【予算額】 54,621千円

- デマンド交通の全市展開
- 利用時間の拡大の検討



利用1時間前までに
タクシー会社に電話で予約

名前・利用日時・乗る停留所・人数



予約した
停留所へ



3-4 にぎわいの場の再生

中心市街地をにぎわいの場にするため、まんなかプロジェクトを中心とした各種イベントの開催、空き店舗等を活用したコミュニティの場や地域の魅力発信のための環境づくりを支援するもの

まちなかにぎわい創造事業

【予算額】14,310千円

三条マルシェの開催
(5～10月開催)



中心市街地活性化プロジェクト

【予算額】2,674千円



まちあるきの実施 ※5-1参照

「ものづくり」のまちの魅力をPR



歴史文化の継承

【予算額】8,065千円

- 歴史的建造物の調査
歴史的建造物の調査や効果的な活用方法の検討
- ふるさと三条再発見事業
まちなかに数多く残る“小路”を始め、
風、鍛冶などの伝統文化をまちあるきに活用する



スイーツフェア開催事業

【予算額】2,800千円

旬の地元食材を使った
スイーツの開発・販売



地産地消フェア

旬の地元食材等の
販売を通じて地産
地消や食育を推進



中心市街地の活性化

【予算額】8,563千円

まちなかコンシェルジュ事業

【予算額】5,293千円

まちなか応援マネージャーを
中央商店街に配置し、商店街
の活性化を図るため、商店街
の情報発信や案内をする

市内5商店街と連携

ミニコミ誌やマップの
発行による情報発信

空き店舗の活用

【予算額】3,270千円

- 空き店舗新規出店者支援事業
- 「高齢者お休み処」
- 「子育てよろず相談所」の開設支援
- まちなかPRスポットとしての検討



3-5 生きがい・就労の場の創出

生涯学習講座の提供や社会参加の機会の提供とあわせ、様々なボランティア活動等を通じた社会貢献の奨励や支援を行い、サービスを提供する側・される側双方の生きがいにつながるような仕組みを構築するもの

生涯学習の充実

- 市民の要望に応じた多様な学習機会の提供
- 生涯学習人材バンクの整備
- 生涯学習指導者及びボランティアの活躍の場の提供

社会参加の機会の提供

老人クラブ活動、シルバー人材センター事業等への支援を通じた高齢者の社会参加機会の提供

生きがい活動の支援

一人暮らしの高齢者等に対する介護予防・趣味活動の支援、昼食の提供を通じて閉じこもり予防や高齢者の社会的孤立感の解消

「健幸マイレージ制度」の創設

【予算額】4,993千円

【事業内容】

「くらしの場」「にぎわいの場」「生きがい・就労の場」の3つ柱を有機的に結び効果的に推進するため、市主催イベントへの参加やボランティア活動等に対してポイントを付与し、ポイント数に応じて抽選等により地元産品等をプレゼントする

イベントに参加

ボランティア活動

元気はつらつ
ボランティア
スタンプ

生きがい
社会貢献
歩行の誘発

ちょっとずつできることをしてスタンプをためる

対象とする主な活動 ※無償ボランティア活動

介護・福祉施設等への 訪問ボランティア	レクリエーション指導
	芸能披露
	食事や移動の補助
学校等の草刈り、植樹等	

スタンプ10個で1,000円相当の地元産品と交換

Wチャンス!

スタンプ
50個以上で

公開抽選会

抽選で150人に
地元産品等をプレゼント!!

生きがいづくりやイベント参加を通じて
自分のペースで楽しみながら自然に健康に!!

スタンプが
たまったら

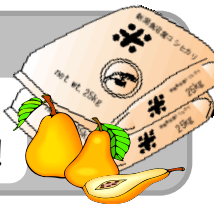
いっしょに
行こう
スタンプラリー

にぎわい
コミュニケーション
歩行の誘発

市主催等のイベント等に参加してスタンプをためる

主なポイント付与対象イベント

三条マルシェ
健康ウォーク
栄ふるさと夏まつり
下田ふるさと祭り
ごみゼロウォーキング
消防防災救急フェア



5つの徹底

4 シティセールスの推進

～三条の素晴らしさをアピールし抜く!～

地域ブランドの確立

燕三条ブランドの積極的な展開(地場産センター)

※4-1 参照

・(新) 観光コンシェルジュの配置、見本市への出展、「燕三条プライドプロジェクト」の推進支援

22年度

・燕三条ウイングの開設
・燕三条インターネットショップ運営支援

(新) ものづくり技術営業力強化塾の創設 【再掲】

※1-2 参照

売れるしくみづくり支援事業 【再掲】

※1-1 ③参照

観光振興・交流人口の拡大

交流拠点施設整備事業

※4-2 参照

・下田地域交流拠点施設整備事業、保内地域交流拠点施設整備事業、かわまちづくり事業

22年度

実施設計

吉ヶ平周辺整備事業

※Ⅱ-3参照

下田地域観光施設等整備事業

※Ⅱ-3参照

・白鳥の郷公苑整備事業(公苑駐車場整備、ヒメサユリの小径駐車場整備、観察棟・トイレ・東屋実施設計)、粟ヶ岳登山道アクセス道路整備事業

22年度

・白鳥の郷公苑の実施設計
・粟ヶ岳アクセス道路用地取得・工事

着地型観光の推進

※5-1 参照

・まちあるきの実施、まちあるきサポーターの創設支援【再掲】

22年度

・まちあるきの実施
・小路看板の設置
・歴史的建造物の詳細調査

(新) 諸橋博士漢学の里整備事業

※4-2 参照

戦略的情報発信

ものづくり産地間連携事業

・越後三条鍛冶まつり、鍛冶キャラバン等による産地間の連携推進

地域連携・広域連携・異地点間連携

農業活性化プランの推進

鮮度保持研究事業 【再掲】

※1-4 参照

農産物販路拡大事業 【再掲】

※1-4 参照

学校給食米ブランド販路開拓事業 【再掲】

※1-4 参照

4-1 燕三条ブランドの積極的な展開

「燕三条」という知名度を活用し、当地域の高い技術力に裏付けられたものづくりの集積地としての魅力を最大限に発揮するため、燕市や関係機関などと連携しながら、「燕三条ブランド」を確立するもの



TSUBAMESANJO
organic lifestyle creations

観光コンシェルジュの配置

[地場産センター事業]

【予算額】 3,951千円

【事業内容】

燕三条Wingに地域の総合案内人として「観光コンシェルジュ」を配置し、観光情報や地域の魅力を発信する



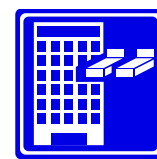
エリア別
ガイド



産業・特産品



食べる



泊まる



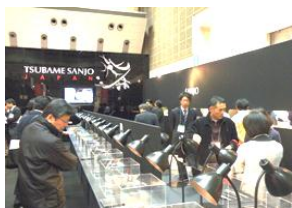
温泉・観光



見本市への出展

[地場産センター事業]

【予算額】 1,733千円



燕三条ブランドプライドプロジェクト

燕三条ブランド
推進室



空間軸・時間軸の
活用の最大化

プロジェクト
群の連鎖

「燕三条」ならで
はの観光戦略

オーガニックな農業と
オーガニックな工業
そしてグッドデザインで
ライフスタイルを創造

「燕三条」という
呼称の推進

4-2 交流拠点施設整備事業

地域の資源を生かした観光振興、地域振興、農業振興(産業振興)につながる交流拠点施設を整備するもの

八十里越え
工事現場見学バス
ツアーの実施



下田地域交流拠点施設整備事業

～四季折々の豊かな自然や歴史・文化を活かした交流・発信～

【予算額】 26,732千円

【事業内容】 交流促進センター庭月庵悟空、農家レストラン、農産物直売所の改修・設計

した郷のハブとなる交流拠点施設

- 地産地消を推進する「農家レストラン」
- 生産者の顔の見える「農産物直売所」
- 地元農作物で加工品を作る「農産物加工所」
- 体験プログラムの充実

諸橋博士漢学の里
整備事業

【予算額】 62,000千円(122補正)

【事業内容】 展示設備等の改修



かわまちづくり事業

～水辺空間を活かした交流・発信～

【予算額】 7,030千円

【事業内容】 実施設計、水防センターの建設



- 防災ステーション
- 水防センター
- 芝生広場
- 趣味・スポーツエリア

農産物直売所



八木ヶ鼻温泉
「いい湯らてい」

保内地域交流拠点施設整備事業

～植木の里としての魅力を発信～

【予算額】 15,172千円

【事業内容】 測量、実施設計



5つの徹底

5 市民参加の徹底

～市民パワーを活用し抜く!～

市民活動の支援

新 まちづくりサポーターの創設に向けた検討

※5-1 参照

まちあるきサポーターの活動支援

※5-1 参照

地域経済の再活性化

新 地産地消フェア開催事業【再掲】

※1-4 参照

新 地産地消システム構築推進事業【再掲】

※1-4 参照

子育て環境の充実

放課後子ども教室の運営【再掲】

スマートウェルネス三条の推進

生活機能の保持【再掲】

※3-3参照

生活習慣病予防と介護予防の充実【再掲】

※3-2 参照

食育の推進【再掲】

※1-4 参照

まちなかにぎわい創造事業【再掲】

※3-4 参照

商店街の活性化【再掲】

※3-4 参照

新 「健幸マイレージ制度」の創設【再掲】

※3-5 参照

シティセールスの推進

燕三条ブランドの積極的な展開(地場産センター)【再掲】

※4-1 参照

交流拠点施設整備事業【再掲】

※4-2 参照

着地型観光の推進【再掲】

5-1 市民活動の支援

活力に満ちた豊かな地域社会を形成するため、市民が主体となった新しい公共の担い手としての活動を支援するもの

まちづくりサポーターの創設に向けた検討

市民が主体となった様々なまちづくり活動を支援し、中間支援組織と連携しながら市民活動の継続と拡大を効果的に図るため、それをサポートする「まちづくりサポーター」の創設に向けた検討を行う

連携

きっかけづくり

活動継続支援

活動拡大支援

中間支援組織

情報提供などを通じた市民活動支援

地域経済

子育て環境

スマートウェルネス
三条

シティセールス

自治会

NPO

ボランティア

まち美化ボランティア

地域見守りサービス
※3-3参照

さんちゃん健康体操
※3-2参照

健幸マイレージ
※3-5参照

マルシェ
※3-4参照

三条まんま塾
※1-4参照

まちあるき

総合型地域
コミュニティ

放課後子ども教室

自主防災組織

交流拠点施設
※5-2参照

ポケットパークの整備

まちあるきサポーターの活動支援

【予算額】100千円

【事業内容】

歴史と文化にあふれる三条のまちを紹介する
「まちあるきサポーター」の育成や活動を支援する

○サポーター養成講座の開設

○案内看板等の作成補助



3つの基盤

I 行財政改革の推進

新経営戦略プログラム

※ I-1、I-2 参照

変化に柔軟な少数精鋭による行政のプロ集団の構築

新 多様な雇用形態の活用

※ I-3 参照

定員適正化計画の着実な実施

※ I-3 参照

人材育成基本計画の着実な実施

※ I-3 参照

・新 スキルマップに沿った人材育成

22年度
スキルマップの作成

コンパクトで柔軟な組織基盤の構築

組織基盤を構成する各要素の強化

・新 文書管理体制の再構築

業務の改善・効率化の取組の推進

※ I-4 参照

・行政サービスの質の向上とコスト削減、職員の意識改革等の徹底

22年度
取組実施課(税務課、生涯学習課、建設部全課、水道局全課)

新 業務の繁閑に柔軟に対応するための組織体制の構築

行政サービスの最適化

新 行政サービス再整理計画の着実な実施

22年度
行政サービス診断カルテによる
事務事業診断の実施

新 公共施設のマネジメント

・新 公共施設のコスト計算書の作成

新 公の施設運営計画の着実な実施

22年度
公共施設のコスト計算書による公
の施設の管理運営体制の検証

財政の柔軟性の確保

税收及び税負担の公平性の確保

・新 債権管理条例の検討

受益者負担の適正化

・新 (仮称)使用料(利用料金)減免基準の在り方検討会での検討

22年度
公の施設の使用料の見直し

～プロフェッショナル意識の高いコンパクトで柔軟な組織体制の構築～

I-1 経営戦略プログラムの総括

「小さな政府(身の丈に合った政府)」の実現を目指し、構造改革、歳出入改革、意識改革の各戦略を推進してきた「経営戦略プログラム」について、計画期間が終了することから各指標の結果を示し総括するもの

地域主権の進展
合併の進展による本格的な
自治体間競争時代の到来
一方で…
合併し過大となった行政

《経営戦略プログラムの取組結果》		H17年度	実績 (H22年度末見込み)	計画期間 目標	あるべき姿
○財政指標	経常収支比率	92.1%	91.2%	90%以内	85.0%以内
	うち人件費	35.7%	30.3%	31%以内	30.0%以内
	実質公債費比率	18.5%	16.1%	18.0%未満	16.0%未満
	財政調整基金残高	42.2億円	44.7億円	22億円以上	10億円以上
○定員管理指標(各年度4/1現在)		1,154人	1,016人	1,044人	730人程度
○事務事業再 整理指標	民営化	—	7業務	6業務	30業務
	業務委託	—	8業務	11業務	290業務
	嘱託員化・臨時職員化	—	12業務	40業務	495業務
	廃止	—	1業務	—	1業務
○施設運営管 理指標	指定管理者制度導入	1施設	47施設	65施設	77施設
	民営化	—	8施設	8施設	18施設
	廃止	—	8施設	7施設	7施設
○サービス 関連指標	職員の接客態度	68.6%	76.5%	90%	100%
	用件の処理時間	76.5%	84.0%	95%	100%
	職員の対応	63.4%	73.6%	90%	100%
	窓口開設時間	59.8%	75.0%	90%	100%

※経常収支比率及び実質公債費比率の数値は、平成17年度算定方式により算出した数値

経営戦略プログラム

(計画期間：H18～H22)

構造改革 “小さな政府”

歳出入改革 “バランス経営”

意識改革 “全国一のサービス提供者”

「民間にできることは民間に」
「地域にできるものは地域に」
「小さな政府」の具現化

“魅力ある行政サービスを 将来にわたり安定的に提供できる 行政システムへの転換”

⇒公が担う領域を狭めつつ、提供するサービスを維持・向上
⇒財源不足を防ぐだけでなく、積極的に財源を生み出し、健全財政を堅持
⇒職員の意識も徐々に変化

“次代にわたり市民に過度な負担をかけず質の高い行政サービスを提供し続ける市役所の構築”

新経営戦略プログラム

(計画期間：H23～H27)

“プロフェッショナル意識の高い、コンパクトで柔軟な組織への転換”

累積効果額 **約48億円**

(※ただし、H21年度末現在)

I-2 新経営戦略プログラムの推進

10年後、20年後の三条市を見据えた羅針盤であり、本市の行政内部の改革の道筋を示した「新経営戦略プログラム」を推進するもの

新経営戦略プログラム

計画期間：平成23年度～平成27年度（5年間）

【目的】次代にわたり市民に過度な負担をかけず、質の高い行政サービスを提供し続ける市役所の構築

～ プロフェッショナル意識の高いコンパクトで柔軟な組織への転換 ～

変化に柔軟な少数
精鋭による行政のプロ
集団の構築

コンパクトで柔軟な
組織基盤の構築

行政サービスの
最適化

財政の柔軟性の
確保

《主要指標》

財政指標

事務事業の再整理
関連指標

公の施設の再整理
関連指標

定員管理指標

サービス
関連指標

《目標達成のための14の方策》

多様な雇用形態の活用

定員適正化計画の推進

人材育成基本計画の推進

組織基盤を構成する各要素
強化の取組

業務の改善・効率化の取組

組織機構の見直し

柔軟な組織体制の構築

目標管理制度の見直し

行政サービス再整理計画の
推進

公共施設のマネジメント

税収確保等の取組

受益者負担適正化の取組

補助金等整理合理化の取組

公債費負担適正化計画の
推進

I-3 定員適正化計画の着実な推進

多様な雇用形態の活用と併せて、職員の資質・意識の向上を図る人材育成体系を確立・運用し、変化に柔軟な行政のプロ集団を構築するもの

定員適正化計画の着実な推進

正職員が担うべき業務の基準を定め、定型的な業務や定められた方針の枠内で進めていく業務などについては多様な雇用形態を活用するとともに計画的な定員管理を行う



正職員		企画・立案等の市の方向性を検討する業務など 行政の中核となる業務を担う
期限付任用職員 正職員が担うべき業務 以外の業務を担う職種	I 類	主に一般事務職の業務を担う
	II 類	保育士職の業務を担う
	III 類	技能労務職の業務を担う
	IV 類	従来の嘱託員の業務のうち、専門的知識等を要しない簡易な業務を担う
その他の職員		嘱託員（高度な資格や経験が必須な職種）、臨時職員、パートタイム職員

あるべき
定員管理目標

総職員数
1,230人

正職員 550人

期限付 520人

その他 160人

人材育成基本計画の着実な推進

スキルマップの作成と活用

スキルマップ
II
人材育成の設計図

職員のとるべき行動(目標)

能力 意識 技術 知識

必要なスキルの見える化とOJTを中心とした人材育成 【予算額】 8,708千円

OJT

職場の上司・先輩による具体的な仕事を通じた業務処理能力・力量の育成

- 職場での担当業務の指導
- 例月政策会議
- 市長とのワン・ツー・シング「しゃべり場」
- 職員提案制度

階層別研修

各職位等に必要な基本的知識の習得

専門研修

担当業務などに関する専門的知識の習得

自己啓発支援

通信教育・資格取得に対する助成

接遇マニュアルの徹底



I-4 業務の改善・効率化の取組の推進

それぞれの課が本来果たすべき役割を十分に果たしているのかをしっかりと検証した上で、効率的な事務執行体制を構築し、提供する行政サービスの質の向上とコスト削減と併せ、職員が主体的に考え・改善することを徹底することで意識改革を図るもの

業務の改善・効率化の取組

平成19～22年度の取組実績

【取組実施課】 21課

【取組による効果予測】 職員数 ▲50人
超過勤務 ▲30,000時間



アフターフォロー

取組実施課に対し、取組効果の検証を行い、必要に応じ改善をサポート



それぞれの課が本来果たすべき役割の検証

業務の棚卸し

課題解決策の検討

効果予測に基づく検証

業務改善

作業改善

- ・事務処理上の無駄の排除
- ・業務の繁簡の差の解消
- ・部門間の協力体制

大きくくり化

- ・組織の最適化
- ・サービスの向上
- ・効率的な括り

業務の効率化

職員の意識改革

組織の一体感の醸成

組織力の向上・コスト削減

更に質の高い行政サービスの提供・市民満足度の向上

平成23年度取組実施課

- 政策推進課
- 情報政策課
- 収納課
- 環境課
- 営業戦略室
- 地域経営課

3つの基盤

Ⅱ 社会インフラの整備促進

新市建設計画の着実な推進

ごみ処理施設建設事業

※Ⅱ－1 参照

・堆肥化施設の建設、環境啓発施設の建設

22年度
実施設計

都市計画道路等道路整備事業

※Ⅱ－2①②③参照

・新保裏館線、半ノ木ーツ屋敷線、田島曲渕線、矢田中曽根新田線、森町院内線など

22年度
新保裏館線の集中的な整備

栄スマートインターチェンジ整備事業

※Ⅱ－2②参照

小中一体校建設事業(第二中学校区)【再掲】

※2－1、Ⅱ－3参照

新 川通保育所移転事業【再掲】

※Ⅱ－3 参照

障がい者拠点施設建設事業

※Ⅱ－3 参照

22年度
実施設計

交流拠点施設整備事業【再掲】

※4－2、Ⅱ－3 参照

吉ヶ平周辺整備事業【再掲】

※Ⅱ－3 参照

下田地域観光施設等整備事業【再掲】

※Ⅱ－3 参照

林道濁沢名下線開設事業

※Ⅱ－3 参照

22年度
・し尿処理施設建設
・栄中央保育所建設
・保内保育所子育て支援センター建設
・栄体育館建設

公共下水道事業、農業集落排水事業など

・公共下水(三条地区)、特定環境保全公共下水(栄地区・下田地区)、農業集落排水(下保内地区)

防災対策の推進

内水対策の推進

緊急内水対策事業

※Ⅱ－４参照

- ・塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部)
- ・輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業、直江町三丁目区域内水対策事業
- ・新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業

新通川・島田川内水対策検討会での検討

※Ⅱ－４参照

- ・新通川の暫定改修事業の早期着手に向けた調査

田んぼダム推進事業

※Ⅱ－４参照

- ・本成寺地区

22年度
・新通川・島田川内水対策検討会の立上げ
・間野川排水路改良事業(排水路改良工事)
・輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業(実施設計)
・塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部)(調査設計)

22年度
西大崎地区、月岡地区、福多地区

新 水防センターの設置

※４－２参照

震災対策の推進

- ・木造住宅耐震診断費補助金交付事業、(新) 木造住宅耐震改修費補助金交付事業

22年度
小・中学校の耐震化(校舎、体育館)

減災対策の推進

地域防災力強化事業

※Ⅱ－５参照

- ・まるごとまちごとハザードマップの整備(大崎、東地区)、(新) 土砂災害ハザードマップの整備
- ・(新) 豪雨災害時危機管理対応検証システムの構築

22年度
・ハザードマップの見直し
・まるごとまちごとハザードマップの整備(西地区、本成寺地区)

災害対策事業

※Ⅱ－５参照

- ・統合型GISを活用した災害情報の可視化

3つの基盤

Ⅲ 力強い地域基盤の確立

広域的取組の推進

生活圏・経済圏での自治体連携

地域医療

救命救急センター及び併設病院等のあり方の検討 【再掲】

観光・産業

燕三条ブランドの積極的な展開 【再掲】

※４－１参照

消 防

消防指令システムの共同整備

Ⅱ－１ ごみ処理施設建設事業

快適な日常生活を送ることができるよう、暮らしに必要な生活関連施設の整備を行うもの

ごみ処理施設建設事業

循環型社会に対応し、熱エネルギーを回収する機能を付加した施設として、設計、建設、運営事業までを一体で行う方式により整備する

【予算額】 7,239,371千円 ごみ処理施設建設工事 ほか

【施設の概要】

- 建設場所 三条市福島新田地内
- 敷地面積 約24,100㎡
- 焼却施設処理能力 160t/日
- リサイクルセンター処理能力 11t/日
- 事業費 10,153,236千円
- 供用開始 平成24年7月（予定）

堆肥化施設の建設

バイオマスタウン構想に基づく廃棄物系バイオマスを有効に活用するために堆肥化施設を整備する

【施設の概要】

- 建設場所 三条市福島新田地内
- 処理能力 4.9t/日
- 供用開始 平成23年9月（予定）



環境啓発施設の建設

環境について楽しく学び体験できる環境啓発施設を整備する

【予算額】 104,700千円 環境啓発施設建設工事 ほか

【施設の概要】

- 建設場所 三条市福島新田地内
- 供用開始 平成24年3月（予定）



Ⅱ－2 都市計画道路等道路整備事業 (①新保裏館線)

国道403号バイパスと市道西大崎西本成寺線を結ぶ都市計画道路新保裏館線の整備を行うもの

【整備状況】

全体延長：3,970m

国道403号BP～西大崎西本成寺線

整備済：2,046m (51.5%)

整備中：870m (21.9%) (アンダー工区・第2工区)

未整備：1,054m (26.6%)

【アンダー工区事業概要】

延長：530m 幅員：18～30m

事業期間：平成14年度～平成26年度

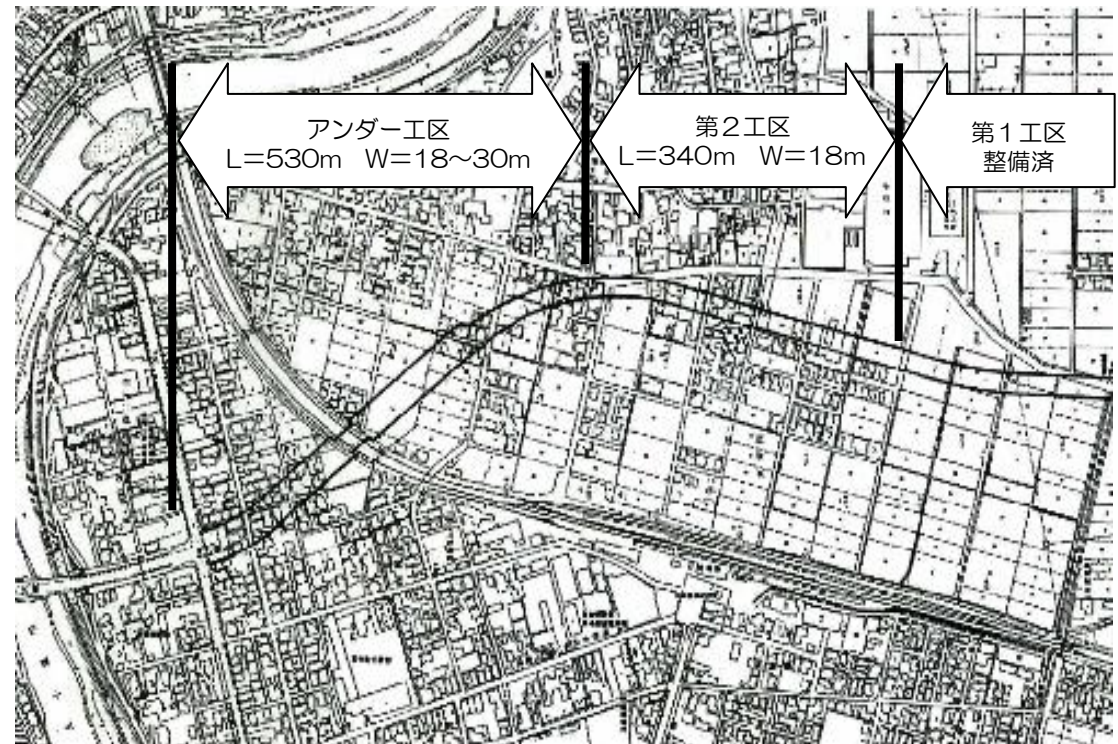
事業費：6,709,000千円(補助等事業費ベース)

【第2工区事業概要】

延長：340m 幅員：18m

事業期間：平成20年度～平成26年度

事業費：878,000千円(補助等事業費ベース)



【経過（アンダー工区）】

年度	～平成21年度	㉑ 補正(3月)	平成22年度	㉒ 補正(12月)	平成23年度
内訳	用地：12,491㎡ 建物補償：47棟 工事：杭打53本	工事：杭打8本 作業ヤード造成 5,011㎡	用地：590㎡ 建物補償：4棟 工事：擁壁40m	工事：杭打32本	JR委託工事 工事：擁壁40m 杭打36本
事業費	2,113,177千円	100,000千円	300,000千円	113,580千円	1,000,000千円
進捗率	31.5%	33.0%	37.5%	39.2%	54.1%

【経過（第2工区）】

年度	～平成21年度	㉑ 補正(9月)	平成22年度	平成23年度
内訳	用地：1,580㎡ 建物補償：5棟	用地：2,280㎡ 建物補償：4棟	用地：780㎡ 建物補償：7棟	用地：922㎡ 工事：50m
事業費	315,260千円	142,845千円	292,760千円	60,000千円
進捗率	35.9%	52.2%	85.5%	92.4%

Ⅱ－2 都市計画道路等道路整備事業 (②半ノ木一ツ屋敷線)

地域経済の活性化や周辺住民の利便性向上等のため、栄パークینگエリアにETC専用のスマートインターチェンジを設置するとともに、国道8号から市道岡野新田2号線を結ぶ都市計画道路半ノ木一ツ屋敷線の整備を行うもの

【事業概要】

延長：1,400m 幅員：17m
 国道8号～市道岡野新田2号線
 事業期間：平成16年度～平成23年度
 事業費：1,575,376千円(補助等事業費ベース)

栄スマートインターチェンジ整備事業

【事業概要】

北陸自動車道栄パークینگエリアにETC専用のスマートインターチェンジを設置

【平成23年度予算額】307,600千円

道路土工、舗装工、付帯工、案内標識工 ほか



【半ノ木一ツ屋敷線整備経過】

年度	～平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	⑳補正(2月)	平成21年度	㉑補正(9月)	平成22年度	平成23年度
内訳	用地：1,746㎡ 建物補償：2棟	用地：1,151㎡ 建物補償：6棟 工事：113m	用地：797㎡ 建物補償：3棟 工事：280m	用地：1,318㎡ 建物補償：1棟 工事：178m	用地：535㎡ 建物補償：2棟 工事：226m	用地：29㎡ 建物補償：2棟 工事：176m	用地：302㎡ 工事：84m	用地：576㎡ 建物補償：5棟 補償：1件(野球場) 工事：506m (完成延長累計1,271m)	工事：147m 遺跡調査：600㎡
事業費	175,000千円	249,047千円	200,000千円	200,000千円	98,709千円	200,000千円	61,620千円	290,000千円	101,000千円
進捗率	11.1%	26.9%	39.6%	52.3%	58.6%	71.3%	75.2%	93.6%	100%

Ⅱ－2 都市計画道路等道路整備事業 (③田島曲渚線)

一般県道三条下田線と市道西大崎西本成寺線を結ぶ都市計画道路田島曲渚線の整備を行うもの

【整備状況】

全体延長：1,230m

一般県道三条下田線

～市道西大崎西本成寺線

整備済：350m(28.5%)

未整備：880m(71.5%)

【事業概要】

延長：880m 幅員：16m

市道田島月岡線

～市道西大崎西本成寺線

事業期間：平成21年度～

総事業費：800,000千円(補助等事業費ベース)

【経過】

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
内訳	用地：3,713㎡ 工事：207㎡	用地：216㎡ 建物補償：6棟	工事：150m 植樹40本
事業費	171,000千円	85,240千円	78,000千円
進捗率	21.4%	32.0%	41.8%



Ⅱ－3 新市建設計画の着実な推進

新市建設計画の理念達成に向け、登載事業の着実な推進に取り組むとともに、行政課題を見通した中で新規事業の方向性として整理したものについては、具体化に向け検討を行うもの

新たに着手する事業 1事業

○川通保育所移転事業 【予算額】 37,552千円 土地取得

継続事業 24事業(既存事業19事業、新規事業5事業)

- 小中一体校建設事業(第二中学校区) 【予算額】 402,073千円 建設工事
- 障がい者拠点施設建設事業 【予算額】 760,000千円 建設工事
- 白鳥の郷公苑整備事業 【予算額】 54,600千円 建設工事
- 吉ヶ平周辺整備事業 実施設計
- 栗ヶ岳登山道アクセス道路整備事業 【予算額】 59,000千円 工事 ほか
- 林道濁沢名下線開設事業 【予算額】 36,000千円 工事 ほか
- 森町院内線道路整備事業 【予算額】 12,000千円 測量、実施設計 ほか
- 交流拠点施設整備事業 【予算額】 17,807千円
 - ・下田地域交流拠点施設整備事業：交流促進センター庭月庵悟空等の改修・設計 ほか
 - ・保内地域交流拠点施設整備事業：測量、実施設計 ほか
 - ・かわまちづくり事業：実施設計、水防センター実施設計 ほか

完了 35事業

- 防災無線システム
- 都市計画道路島田線
- 本成寺地区農業集落排水
- 川通地区農業集落排水
- しらさぎ荘
- 千代が丘保育所
- 下田公民館
- 守門岳登山道
- 火葬場
- 三条東公民館
- 栄中央保育所
- 保内保育所子育て支援センター
- 栄体育館 など



火葬場「樹の森斎苑」



三条東公民館



栄中央保育所



栄体育館

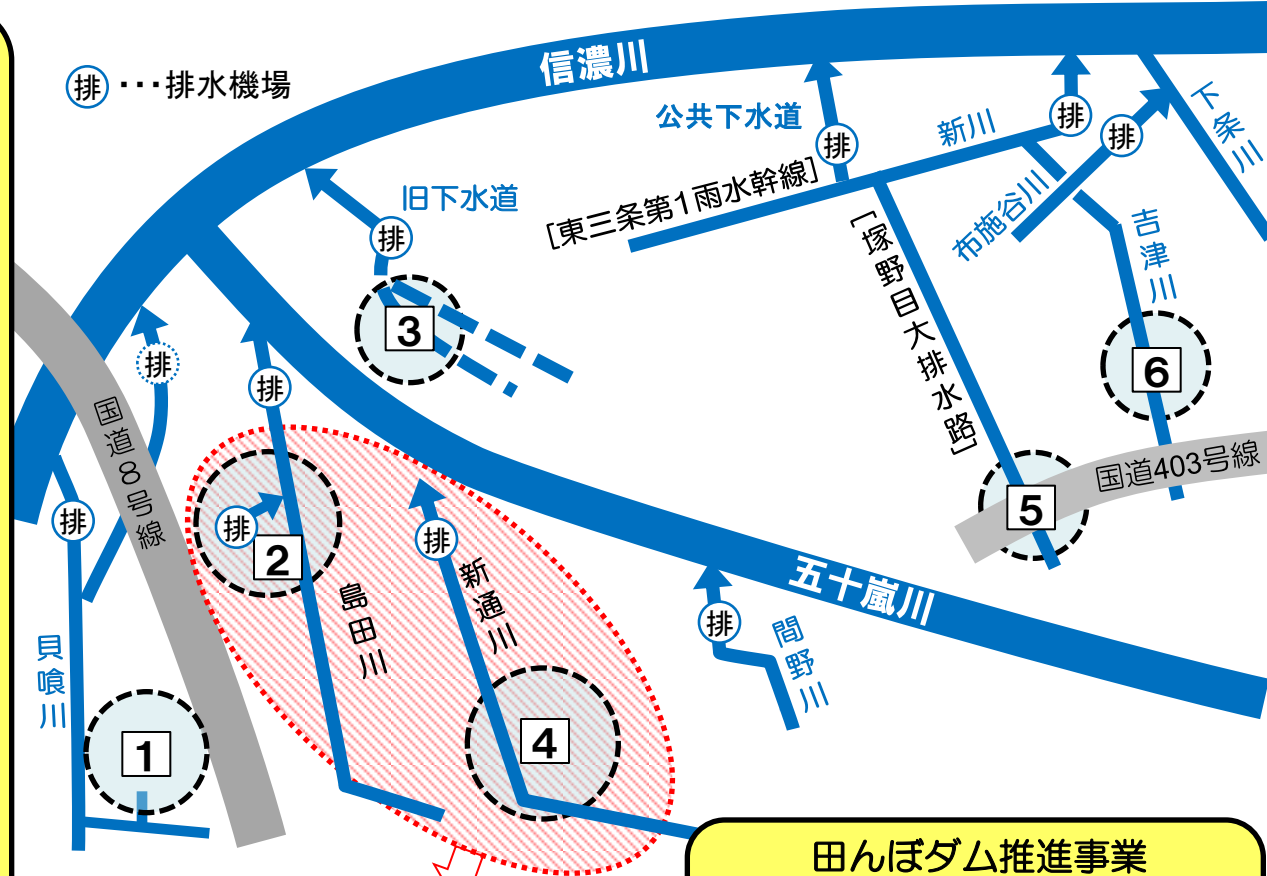
Ⅱ－4 内水対策の推進

市街地の強雨時に浸水しやすい地区における短期的な当面の対策を行うとともに、排水において重要な役割を果たす河川について、流域の内水対策と連携しより効果的に進めるための検討を行い、浸水被害の軽減を図るもの

緊急内水対策事業

【予算額】 67,100千円

	事業名	事業期間	H23年度 事業内容
1	直江町3丁目排水区域内水対策事業	平成22年度 ～平成24年度	排水路改良等 実施設計
2	輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業 (条南町・桜木町・西本成寺1丁目)	平成21年度 ～平成27年度	排水路改良 工事
3	旧下水道排水区域内水対策事業(本町、八幡町、荒町1丁目)	平成20年度 ～平成23年度	排水路改良 工事
4	新通川・島田川沿線区域内水対策事業	平成23年度～	排水路改良等 基本設計
5	塚野目大排水路改良事業 (国道403号横断部)	平成22年度 ～平成24年度	排水路改良等 実施設計
6	吉津川流域内水対策事業	平成23年度～	調査設計



連携

新通川・島田川内水対策検討会

【予算額】 2,100千円

【事業内容】

新通川・島田川の河川改修及び流域の内水対策をより効果的に推進するための調査・検討を行う

田んぼダム推進事業

【予算額】 2,660千円

【事業内容】

水田に雨水を一時貯留し、時間をかけて下流へ排水することで下流の市街地の浸水被害を軽減する

【実施地区】

本成寺地区

Ⅱ－５ 減災対策の推進

ハザードマップの整備と併せ、災害の発生が予想される時点から復旧するまでの対応に必要な情報や執るべき具体的方策などについて検証し、総合的な災害対応の仕組みを構築するもの

豪雨災害時危機管理対応検証システムの構築

【予算額】 2,993千円

【事業内容】

実際の豪雨水害時の氾濫状況や被害想定をシミュレーションにより再現するとともに、危機管理対応の実施有無やそのタイミングによってどのように被害が軽減又は増加するかを効果的かつ効果的に検証する

氾濫シミュレーション モデルの構築

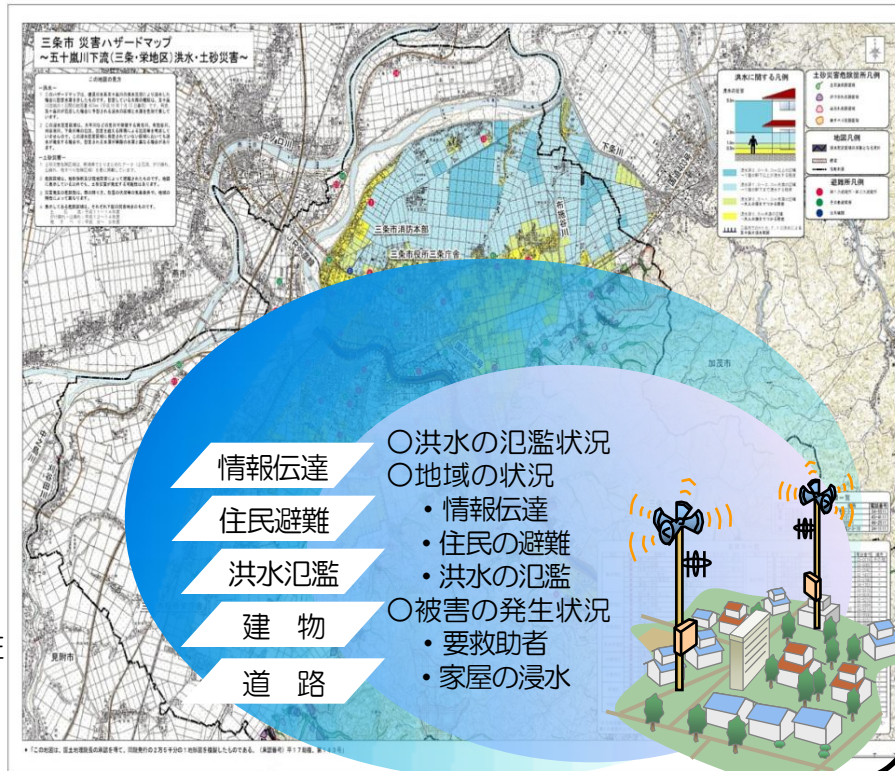
- ・洪水氾濫モデルの構築
- ・氾濫シミュレーションの実施
- ・シミュレーションデータの出力

危機管理シミュレーション 基本システムの構築

- ・シミュレーションモデルの検討
- ・シミュレーションモデルの構築
- ・テストケースの実施
- ・行動シナリオの分析・評価

危機管理対応の検討

- ・現行危機管理対応の整理
- ・シミュレーションによる危機管理対応の検証
- ・危機管理対応の最適化の検討



まるごとまちごと ハザードマップの整備

【予算額】 4,000千円

【事業内容】

洪水時に想定される浸水の深さや避難所を街角(主に電柱)に表示するハザードマップを整備する

【整備地区】 大崎、東地区

土砂災害 ハザードマップの整備

【予算額】 750千円

【事業内容】

土砂災害特別警戒区域について、土砂災害ハザードマップを作成し、警戒避難体制を整備する

統合型GISを活用した 災害情報の可視化

【予算額】 344千円

【事業内容】

統合型GISを活用した情報共有体制を確立し、災害対策本部の機能強化を図る